

大腸内視鏡検査・内視鏡的ポリープ切除術(コールドポリペクトミー) に対する説明書

説明書・同意書は検査当日にご持参ください

安心して大腸内視鏡検査を受けていただくために、依頼医院の主治医から検査の必要性と合併症の可能性について十分な説明をうけたうえで、患者さんの自由意志による同意を得て検査を行いたいと考えております。依頼医院の主治医の説明をお聞きいただき、疑問点は質問した上で納得され、大腸内視鏡検査および内視鏡的ポリープ切除術の実施に同意される時は、同意書にご署名のうえ、紹介状と一緒に海老名総合病院にお持ち下さい。

なお、同意を拒否されましても、また実施直前に同意を撤回されましても、診察上不利益を受けることはありません。

1.大腸内視鏡検査

1.-1 検査目的

肛門から内視鏡を挿入しながら大腸を観察し、病変を発見・診断することで、適切な治療方針を立てることが目的です。

1.-2 検査方法

- ① 検査は20～30分程度で終わりますが、時には時間がかかることもあります。まれに腸管の走行や、腹部の手術・炎症により大腸が癒着し、内視鏡を奥まで挿入することが困難な場合もあります。
- ② 検査を行うためには前処置が必要です。下剤や腸管洗浄剤を内服して頂きます。
- ③ 内視鏡を肛門より挿入し、盲腸や一部小腸の末端から直腸まで観察します。
鎮静剤・鎮痛剤を希望される方には、検査が始まる前に点滴を留置し、適宜薬を投与します。
施行医の判断で、鎮痙剤（腸の動きを弱める薬剤）を使用することがあります。
- ④ 精査が必要な場合は組織の一部を採取し、小さいポリープはその場で切除することがありますが、特に痛みはございません。ただ一時的に出血しますので、抗血栓薬(血液をサラサラにする薬)を服用中の方や、血液疾患をお持ちの方は検査前にお申し出ください。

2.内視鏡的ポリープ切除術 ※治療を行った際の会計は検査費用から治療費用に変更となります。

①治療目的

大腸癌のほとんどがポリープから始まることが分かっており、ポリープの形状が大きくなるにつれて癌化の傾向も強くなっていきます。小さくても形状がいびつだったりすると、悪性の可能性もあります。ポリープの大きさ・形状を観察し、切除必要なものを切り取って良性か悪性か、また悪性であれば程度を調べます(病理組織診断)。病理組織診断結果にて問題なく切り取れていれば治療が完了します。もし、癌の程度が進行していた場合は外科的手術が必要になることがあります。

②治療方法

内視鏡検査にて5～7mm程度のポリープ(腺腫疑い)が見つかった場合、その場で短期滞在手術(日帰り手術)としてポリープ切除ができます。一回の検査で3～4個までは切除しますが、内視鏡担当医の判断で個数が多い方やポリープの大きさが1cm程度認める方に関しては治療後の出血の危険性を考慮して数回に分けての治療もしくは入院して治療を勧めることがあります。方法としては、内視鏡カメラよりジャンボ鉗子もしくはスネア鉗子(金属のワッカ)にて切除します。ポリープを切除するので、一時的に出血はしますが自然に止血されます。出血が持続する場合は、クリップで切除した傷口をふさいで止血いたします。

注意:抗血栓薬(血液をサラサラにする薬)の内服を継続している方に関しては、ポリープ切除が出来ない場合がございますので、事前に依頼医にご相談して下さい。

③ 治療後

3日間は経過観察をして頂き、偶発症を疑う症状がありましたら下記の番号へご連絡下さい。ご来院頂く場合がありますので、上記期間は1時間程度で来院できる距離でお過ごし下さい。

※電話番号 046-233-1311(代表)までご連絡を頂き、『短期滞在手術(日帰り手術)』をした旨をお伝えください。

場合によっては緊急入院や再度内視鏡による追加処置や外科的手術が必要になることもあります。

3.常用薬について

①常用している内服薬がある方は、検査時の服薬について事前にご相談ください。

②抗血栓薬の内服は、必ず事前に主治医(処方医)に相談してください。

※危険ですので、独断で抗血栓薬の内服を中止しないでください。

4.検査後

①鎮静剤・鎮痛剤を使用する場合、乗り物の運転(車、バイク、自転車など)は検査後から翌朝まで必ずやめて頂きます。判断を伴う会議の参加や、危険を伴う作業もおやめください。

②使用後は約1時間程度病院にて安静確認させて頂き、問題の無いことが確認出来ましたらご帰宅となります。

③結果については、依頼医へご報告いたします。

海老名総合病院 検査共同利用

患者さん交付用

【病院記入/確認欄】 検査施行医

大腸内視鏡検査・内視鏡的ポリープ切除術(コールドポリペクトミー)

に対する同意書

5. 偶発症 (患者さんの不利益な合併症)

・大腸内視鏡検査

前処置による偶発症: 多くが鎮静鎮痛薬と腸管洗浄薬に関連するものですが、鎮痙薬や抗血栓薬の休薬に伴うものなどもあります。腸管洗浄薬によるものとしては、悪心/嘔吐や腹痛、虚血性大腸炎、腸閉塞、穿孔(腸に穴があくこと)、意識消失・失神、冷汗などがあります。

検査による偶発症: 出血(組織検査による出血も含む)、穿孔(腸に穴があくこと)、徐脈、嘔気・嘔吐、血圧低下などがあります。

日本消化器内視鏡学会による第7回全国調査では、

前処置に対する偶発症: 0.15% (約 666 分の 1)

大腸内視鏡検査に対する偶発症: 0.046% (約 2200 分の 1)

緊急内視鏡時の偶発症 止血治療時: 0.41% (約 244 分の 1)

その他緊急内視鏡治療時: 1.28% (約 78 分の 1) と報告されています。

・内視鏡的ポリープ切除術(コールドポリペクトミー)

日本消化器内視鏡学会による第7回全国調査では、出血や血圧低下が主な偶発症で

偶発症率: 0.24% (約 423 分の 1) と報告されています。

偶発症が起これないように細心の注意を払っており、偶発症が起きてしまった場合も最善の対処を致しますが、入院・手術・他必要な検査の費用は患者負担(保険診療)となりますので、ご了承をお願いします。

私は医師から、本検査・治療の内容・目的・必要性、及び、含まれる危険性・起こりうる合併症について十分な説明を受け理解をしましたので同意し、これを依頼いたします。

医療機関名: _____

説明医師の氏名: _____

同席看護師の氏名: _____

大腸内視鏡検査を 同意する ・ 同意しない

短期滞在手術(日帰り手術)でのポリープ切除を 同意する ・ 同意しない

年 月 日

患者さん署名 _____

保護者/代理人署名 _____

(続柄) _____

同席者署名 _____

(続柄) _____

緊急時の連絡先氏名 _____

(続柄) _____

緊急連絡先者のTEL _____

患者さん控え

【検査共同利用】

海老名総合病院 院長 殿

【病院記入/確認欄】 検査施行医 _____

大腸内視鏡検査・内視鏡的ポリープ切除術(コールドポリペクトミー) に対する同意書

5. 偶発症 (患者さんの不利益な合併症)

・大腸内視鏡検査

前処置による偶発症: 多くが鎮静鎮痛薬と腸管洗浄薬に関連するものですが、鎮痙薬や抗血栓薬の休薬に伴うものなどもあります。腸管洗浄薬によるものとしては、悪心/嘔吐や腹痛、虚血性大腸炎、腸閉塞、穿孔(腸に穴があくこと)、意識消失・失神、冷汗などがあります。

検査による偶発症: 出血(組織検査による出血も含む)、穿孔(腸に穴があくこと)、徐脈、嘔気・嘔吐、血圧低下などがあります。

日本消化器内視鏡学会による第7回全国調査では、

前処置に対する偶発症: 0.15% (約 666 分の 1)

大腸内視鏡検査に対する偶発症: 0.046% (約 2200 分の 1)

緊急内視鏡時の偶発症 止血治療時: 0.41% (約 244 分の 1)

その他緊急内視鏡治療時: 1.28% (約 78 分の 1) と報告されています。

・内視鏡的ポリープ切除術(コールドポリペクトミー)

日本消化器内視鏡学会による第7回全国調査では、出血や血圧低下が主な偶発症で偶発症率: 0.24% (約 423 分の 1) と報告されています。

偶発症が起これないように細心の注意を払っており、偶発症が起きてしまった場合も最善の対処を致しますが、入院・手術・他必要な検査の費用は患者負担(保険診療)となりますので、ご了承をお願いします。

私は医師から、本検査・治療の内容・目的・必要性、及び、含まれる危険性・起こりうる合併症について十分な説明を受け理解をしましたので同意し、これを依頼いたします。

医療機関名: _____

説明医師の氏名: _____

同席看護師の氏名: _____

大腸内視鏡検査を 同意する ・ 同意しない

短期滞在手術(日帰り手術)でのポリープ切除を 同意する ・ 同意しない

年 月 日

患者さん署名 _____

保護者/代理人署名 _____

(続柄) _____

同席者署名 _____

(続柄) _____

緊急時の連絡先氏名 _____

(続柄) _____

緊急連絡先者のTEL _____

病院提出用

【検査共同利用】

海老名総合病院 院長 殿

【病院記入/確認欄】 検査施行医

大腸内視鏡検査・内視鏡的ポリープ切除術(コールドポリペクトミー)

に対する同意書

5. 偶発症(患者さんの不利益な合併症)

・大腸内視鏡検査

前処置による偶発症: 多くが鎮静鎮痛薬と腸管洗浄薬に関連するものですが、鎮痙薬や抗血栓薬の休薬に伴うものなどもあります。腸管洗浄薬によるものとしては、悪心/嘔吐や腹痛、虚血性大腸炎、腸閉塞、穿孔(腸に穴があくこと)、意識消失・失神、冷汗などがあります。

検査による偶発症: 出血(組織検査による出血も含む)、穿孔(腸に穴があくこと)、徐脈、嘔気・嘔吐、血圧低下などがあります。

日本消化器内視鏡学会による第7回全国調査では、

前処置に対する偶発症: 0.15% (約 666 分の 1)

大腸内視鏡検査に対する偶発症: 0.046% (約 2200 分の 1)

緊急内視鏡時の偶発症 止血治療時: 0.41% (約 244 分の 1)

その他緊急内視鏡治療時: 1.28% (約 78 分の 1) と報告されています。

・内視鏡的ポリープ切除術(コールドポリペクトミー)

日本消化器内視鏡学会による第7回全国調査では、出血や血圧低下が主な偶発症で

偶発症率: 0.24% (約 423 分の 1) と報告されています。

偶発症が起こらないように細心の注意を払っており、偶発症が起きてしまった場合も最善の対処を致しますが、入院・手術・他必要な検査の費用は患者負担(保険診療)となりますので、ご了承をお願いします。

私は医師から、本検査・治療の内容・目的・必要性、及び、含まれる危険性・起こりうる合併症について十分な説明を受け理解をいたしましたので同意し、これを依頼いたします。

医療機関名: _____

説明医師の氏名: _____

同席看護師の氏名: _____

大腸内視鏡検査を 同意する ・ 同意しない

短期滞在手術(日帰り手術)でのポリープ切除を 同意する ・ 同意しない

年 月 日

患者さん署名 _____

保護者/代理人署名 _____

(続柄) _____

同席者署名 _____

(続柄) _____

緊急時の連絡先氏名 _____

(続柄) _____

緊急連絡先者のTEL _____